

災害発生！ 迅速に安心・安全を 守ります



80秒短縮

現場到着時間が大幅に短縮

近年、救急車の出動件数が増加し、皆さんも街中で救急車のサイレンを毎日のように聞いているのではないのでしょうか。平成23年の救急件数は、3千465件で過去最高となりました。平成22年中は3千302件の出動があり、現場到着までの平均所要時間は9分8秒でしたが、平成23年10月に共同運用を開始してから、12月末までに出勤した860件の平均所要時間は7分48秒と80秒短縮し、全国平均を下回っています。

予 防 住宅用火災警報器を 設置しましょう

平成23年6月から、すべての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました。昨年11月に実施したアンケートでは、本市の設置率は71.2パーセントでした。



住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は家族の安全を守る住宅防火の「切り札」です。まだ設置していない家庭は早めに設置してください。

熊谷市消防本部と行田市消防本部は県内初の試みとして、高機能消防通信指令システムを平成23年10月から共同で運用し、指令業務を行っています。

高機能消防通信指令システムは、発信地表示システムおよびGPS機能などの最新鋭の設備を備えており、両市で共同運用を図ることで、消防・救急活動の幅広い効率的な運用や、大規模災害時などの迅速な活動が可能となりました。

今後とも、市民の皆さんの安心・安全な暮らしを守るため、共同運用のより円滑な実施に努めていきます。



時間短縮の要因

- ・119番通報の会話中に出勤指令を出すことが可能になりました。
- ・事故発生場所に一番近い車両を自動的に選択するシステムが確立されました。

そのほかの効果

- ・災害発生状況メール配信システムの自動化により、リアルタイムに配信することが可能となりました。
- ・消防車や救急車の位置をGPSで把握する車両動態管理装置により、災害発生地点を中心に各隊部署の位置が指令センターに表示され、消防・救急活動の各隊の連携が強化されました。

消防自動車も救急出動する場合があります

「救急車を呼んだのに、消防車まで来た」とびっくりする場合があります。

消防本部では、救急車のみでは対応が難しい場合に備えて、消防車も出動して救急活動の支援を行っています。これを消防車(Pumper)と救急車(Ambulance)の頭文字を取って「PA連携」と呼んでいます。

こんなときPA連携出動します

- ・傷病者が重症であり、救急隊員のみでは迅速に対応できないとき。
- ・建物の上階に傷病者がいて、搬送が困難なとき。
- ・交通量が激しい場所などで、傷病者や救急隊員の安全を確保する必要があるとき。
- ・そのほか、救急隊の活動を支援する必要があると判断したとき。



火災の取り扱いには十分ご注意ください

平成23年中の火災発生件数は29件で、前年より9件増加し、そのうち、建物火災の件数は11件で前年より4件減少しました。なお、住宅火災の全焼火災件数は2件で前年より2件減少しました。出火原因は、たき火6件、放火2件、放火の疑い4件、電気配線2件、その他7件、不明8件です。

▼火災発生場所の問い合わせ

テレドーム ☎0180-1994419

もしものときは落ち着いて119番

受話器を取り、局番なしで「119」をダイヤルします。通報すると、119番受付員が必要なことを順番に尋ねますので、落ち着いてははっきりと正確に答えましょう。

【火災の通報】

119番受付員	通報者
火事ですか？救急ですか？	火事です。
場所はどこですか？	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号です。
何が燃えていますか？	〇〇が燃えています。
あなたの名前と今かけている電話番号を教えてください。	私の名前は〇〇〇〇です。 電話番号は〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇です。

【救急の通報】

119番受付員	通報者
火事ですか？救急ですか？	救急です。
場所はどこですか？	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号です。
どうしましたか？	〇〇(誰)が〇〇〇〇(どうした)です。
あなたの名前と今かけている電話番号を教えてください。	私の名前は〇〇〇〇です。 電話番号は〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇です。

▶問い合わせ 消防本部総務課 ☎550-2119